

ネット・スマホのある時代の子育て

正しく

保護者が 知っておきたい

4つの大切なポイント

児童・生徒編

学習面での活用が一気に増えてきたインターネットやスマートフォン。コミュニケーションや息抜き等、生活をサポートする道具だからこそ、トラブルを避けて上手に使いこなすスキルを身につけてほしいものです。

長時間利用の中身に着目!

Point1



連絡?遊び?
それとも勉強?
どれだけ使っているかではなく、何にどう使っているかが、肝心です。

オンラインゲームで起きているトラブルとは!?

Point2

ゲームの中でつながる仲間との関係。
だからこそトラブルや犯罪に巻き込まれることも!



Point3

SNSで誹謗中傷?いじめ?

Point3



仲間外れや個人攻撃などの被害・加害を防ぐためには?

写真・動画の安易な投稿が危険を招く!

Point4

自撮り写真の投稿・送信や動画投稿に起因するトラブルとは?



子供たちの使い方やネットトラブルの現状を知り、助言や話し合いの際にお役立てください

Point①

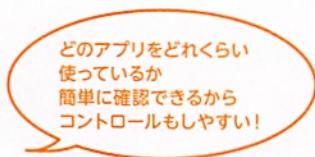
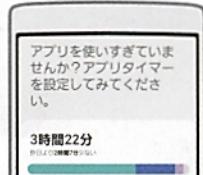
時間の長さだけではなく中身に着目

何にどのくらいつかっているのかを、一緒に確認しましょう

学習での活用も増え、子供のインターネット利用時間はより一層長くなっています。「いつまでやっているの！？」と頭ごなしに叱らず、子供がどんな使い方をしているのか、内容と時間を把握することが大切です。

どのカテゴリにどれくらい使ったかを確認するにはスクリーンタイム(iPhone)やデジタルウェルビーイング(Android)が便利です。

利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、上手に活用しましょう。



スマホに入っているツールを使って時間管理することもおすすめです



スクリーンタイム
(iOS12以上)



デジタル
ウェルビーイング
(Android10以上)



スクリーンタイムの
設定方法
(動画)



Digital
Wellbeing
(紹介ページ)



これらのツールを活用するための大切な
ポイントは、設定変更の際には必ず相談
するよう促すこと。
親子で一緒に「利用時間のコントロール」
をやってみませんか？

Point②

ゲームプレイは“個”から“グループ”へ

保護者と一緒にプレイしなくなる時期こそ、しっかり見守る

一人で、リアルな友達と、ネット上のグループで協力しながら。ゲームは多様な遊び方があります。

高額課金やID乗っ取り等のトラブルだけではなく、誘う・誘わない、アイテムをもらった・もらわないでもめたり、一人抜けできず長時間プレイになったりといったことも生じています。また、プレイ中のチャットや音声でのやり取りから、個人情報が流出したり、誘い出しのきっかけになってしまふこともあります。

保護者は、子供がどんなゲームをしているか知ておくとともに、対象年齢に達しているかを確認したり、スマホやゲーム機のペアレンタルコントロール機能を活用したりして、子供の安全利用を見守りましょう。

年齢区分(レーティング)とは？

おもちゃの対象年齢と同様に、ゲームのソフトやアプリにも「〇歳以上」という対象年齢の区分があり、マークで示されています。ソフトのパッケージやアプリの入手画面で必ず確認しましょう。

【ゲームソフトの年齢区分(例)】



【スマートアプリの年齢区分(例)】

